

## 高校生と大学生が大洲の防災まちづくりを考えます 「東大洲地区・長浜地区を対象としたワークショップ」の開催

肱川流域では、甚大な被害が発生した平成30年7月豪雨を契機として、緊急的な治水整備が実施され、河川激甚災害対策特別緊急事業による堤防整備等が完成し、治水安全度が向上したものの、気候変動等によって水害は頻発・激甚化の恐れもあり、そのリスクは依然として残ります。

そこで、大洲市における水害リスクを踏まえた防災まちづくりの推進を定着・継続する目的として、令和5年度より地元高校生と東京大学学生のワークショップや地域住民の方々を対象とした取組状況の報告会を実施しています。

このワークショップでは、肱川流域における水害の特性等を学ぶとともに、実際にまちを歩き、水害リスクを基に「何が課題となるか」、また、「どんなまちにしたいのか」を考え、意見を取りまとめているところですが、令和7年度も継続して取組を進めています。【別添1】

### 記

#### ■肱川流域の水害リスクに関するワークショップ（東大洲・長浜地区編）

##### 1. 開催日時

令和7年12月21日（日） 13：00から17：00（予定）

##### 2. 開催場所

大洲市役所 2階大ホール（大洲市大洲690番地の1）

※詳細は【別添2】をご参照ください。

##### 3. その他

報道関係者でご参加いただける場合、下記主な問い合わせ先に、12月19日（金）までにご連絡をお願いします。

#### ■今後の取組予定

- ・防災まちづくり報告会 令和8年3月上旬予定

※詳細が決まりましたら、改めてお知らせします。

#### 【問い合わせ先】

国土交通省 大洲河川国道事務所

Tel: 0893-24-5188

副所長

たかしま やすのり  
高島 愛典

(内204)

●工務第一課長

こたに せいじ  
小谷 精司

(内311)

●: 主な問い合わせ先

※本施策は、四国圏広域地方計画【No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト】の取組に該当します。

# 水災害リスクを踏まえた防災まちづくり

～若い世代とともに考え、みんなで担う水防災、きらめく大洲を未来へ～

主催:四国地方整備局 大洲河川国道事務所

## 取組概要

大洲市では、平成30年7月豪雨による甚大な被害を受け、国・県・市が一体となった「肱川緊急治水対策」を実施しており、令和6年5月末に堤防整備等が完成し、治水安全度が向上したところですが、今後も気候変動の影響等により、水害のリスクは存在します。そこで、国土交通省大洲河川国道事務所では、大洲市や愛媛県、東京大学との連携により、『地域の防災意識の向上と水災害リスクを踏まえた防災まちづくり』に関する取組を令和5年度より実施しています。

※この写真は、令和5年度実施した大洲高校・大洲農業高校との防災まち歩きの様子です。

## 実施内容

実施年月		地元高校生とともに進めてきた防災まちづくりのあゆみ
令和5年度	令和6年 2月	<b>大洲市・肱川流域の中流地区にてスタディツアーを開催しました！</b> 東大洲地区のまちあるきや、被災体験談を聞いて、グループワークを行いました。
	令和6年 3月	<b>地元住民へ向けた報告会を開催しました！</b> 地元高校生や東大学生が主体となり、各関係者による取組紹介や、パネルディスカッションを行いました。
令和6年度	令和6年 11月	<b>大洲市・肱川流域の上流地区にてスタディツアーを開催しました！</b> 鹿野川ダム見学などのまちあるきや、被災体験談を聞いて、グループワークを行いました。
	令和6年 12月 令和7年 1月	<b>大洲市・肱川流域の下流地区にてスタディツアーを開催しました！</b> 長浜地区のまちづくり見学や、グループワークを行いました。
	令和7年 3月	<b>地元住民へ向けた報告会を開催しました！</b> 各関係者による取組紹介や、交流しながら学べるオープンハウス、パネルディスカッションを行いました。
令和7年度	令和7年 10月	<b>大洲市・若者から地元住民へ — 「これまで」をともに振り返るWSを開催！</b> 東大洲・長浜地区にてこれまでの取組紹介・座学を行います。
	令和7年 11月	<b>大洲市から西予市へ、流域全体へと視野を広げたスタディツアーを開催！</b> 野村ダム・田んぼダムを見学、被災体験談を聞き、グループワークを行います。
令和7年度	令和7年 12月	<b>スタディツアーを通して、自分のまちを“自分ごと”として見つめ直すWSを開催！</b> これまでの活動を振り返りながら、まとめのワークショップを行います。
	令和8年 3月	<b>地元住民へ向けた報告会を開催！</b> オープンハウス・パネルディスカッションを通してこれまでの活動を報告します。



## 【今回の取組内容】

令和7年12月21日、東大洲・長浜地区の水害リスクを学ぶワークショップを実施します。

前回の11月に開催された野村・宇和地区の流域治水に関するスタディツアーハウスを通じて、上流の“誰かの工夫”が、下流の地域の“明日の安全”を守っていることを学びました。

今回は、この“気づき”を一歩進めて、「日々の備え」をテーマに、高校生等の参加者の心に芽生えた思いを“自分の地域での行動”に変えていくことを目指します。

## 肱川流域の水害リスクに関するワークショップ ～東大洲・長浜地区編～



※この写真は今年11月に実施したワークショップの様子です。

### 肱川流域の水害リスクに関するワークショップ～東大洲・長浜地区～

ワークショップでは、肱川の東大洲地区・長浜地区を対象とした水害リスクを学ぶ(相互理解)とともに、その水害リスク評価結果を参考に日々の備え(自分にできること)等を参加者で考えます。

**日時:** 令和7年12月21日(日)  
13:00~17:00(予定)  
**会場:** 大洲市役所2階大ホール  
**住所:** 大洲市大洲690番地の1

**主な参加者:**  
1) 大洲高校の生徒  
2) 大洲農業高校の生徒  
3) 長浜高校の生徒  
4) 東京大学の学生  
5) 大洲市内の住民

時間	内容
13:00~	■開会
13:10~	①振り返り 等
13:50~	②行政からの提案 ・水害リスク評価の提案 ・立地適正化計画との連携
14:40~	③グループワーク
15:50~	④みんなで共有・オープンハウス
16:50~	■総評、閉会



会場: 大洲市役所  
2階大ホール



昨年のオープンハウスの様子



昨年の高校生ブースでの説明の様子

※ご来場の際は、市役所内の平面駐車場または南側の立体駐車場をご利用ください。航瀬  
国土地理院・地理院地図を使用し、位置名称等を追記したものである。